

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 31-001

PDCA	事務事業名	新美南吉記念館一般事務	部課等名	教育部 博物館 新美南吉記念館	担当	八谷	
					内線等	26-4888	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 3. 文化の継承と創造 単位施策： (3) 新美南吉の顕彰と南吉文学の普及 個別施策： ②児童・生徒への学習支援					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	・南吉研究者、来館者等に適切な情報伝達ができるようにする。 ・年代に応じた様々な講座等を実施し、より多くの人に南吉とその文学のすばらしさを知ってもらう。 ・顕彰事業（講演会、彼岸花植栽、ガイドボランティア等）を補助することで、南吉の名を全国に広める。					
	目的を達成するための手段・活動内容	・新美南吉とその文学に関する調査、研究及び資料の収集、整理、保管等・各種講座、教室等の企画、開催 ・来館者の案内、レファレンス等 ・新美南吉顕彰会へ顕彰事業補助要綱により、補助金を交付 ・なんきち出前講座（館長または学芸員が学校に出向き、南吉に関する話をする）					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①各種講座・教室等の開催回数	70	72	74	回	
		②展示ガイドボランティア実施回数	125	121	110	回	
		③					
		事業費	7,643	8,645	7,555	千円	
		人件費	10,399	9,740	10,810	千円	
		総事業費	18,042	18,385	18,365	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
		①開館1日あたりの南吉記念館運営コスト（一般財源分）	8,072	9,143	17,573	円	
	②各種講座、教室等参加者1人あたりの開催コスト（出前講座、テレビ授業除く）	769	678	1,258	円		
	③なんきち出前講座・テレビ授業受講者1人あたりのコスト	450	473	1,882	円		
	成 果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①新美南吉記念館年間入館者数	実績値	59,611	60,931	53,295	人
			目標値	59,000	60,000	63,000	
②各種講座・教室・朗読会等の参加人数		実績値	2,545	2,923	3,898	人	
		目標値	2,400	2,600	2,600		
③展示ガイドボランティア案内人数		実績値	7,762	7,044	6,162	人	
	目標値	3,500	5,500	7,000			
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	B					
		平成30年度は11月から12月にかけて、空調機器の更新、照明のLED化で臨時休館をしたことにより、年間の入館者数は減少した。しかし、七夕飾りや凧作り体験などの新規ワークショップを充実させたことにより、参加人数は目標値を大きく上回った。新美南吉のことをあまり知らない人に興味を持ってもらうために、また更に理解を深めてもらえるように、各種講座・教室を充実させ、参加者の満足度向上に努める。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
	新美南吉や文学に親しみ、理解を深めてもらうため、地域の方や企業などとのネットワークを活かしつつ、各種講座等の開催やガイドボランティアの充実を進める。また、全国の南吉ファンのみならず、地元の方々にも楽しんでもらえるよう、南吉に関わる時宜に合った年中行事を充実させる。						
	令和元年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①新美南吉記念館年間入館者数	63,000	人			
		②各種講座・教室・朗読会等の参加人数	2,600	人			
	③展示ガイドボランティア案内人数	7,000	人				